

2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

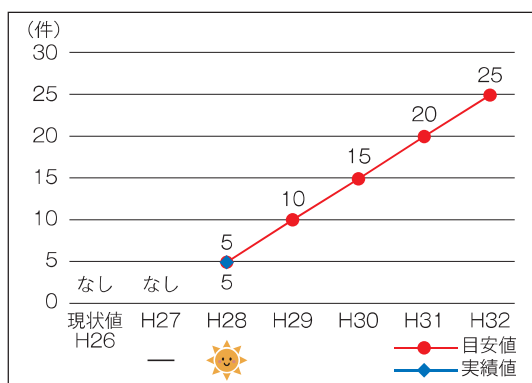
- 人口減少、少子高齢化が進行する中、持続可能で誰もが暮らしやすいコンパクトな「まち」づくりの推進や市町間の広域連携の促進等による都市や中山間地域の活性化を図ります。

(2) 重点的取組

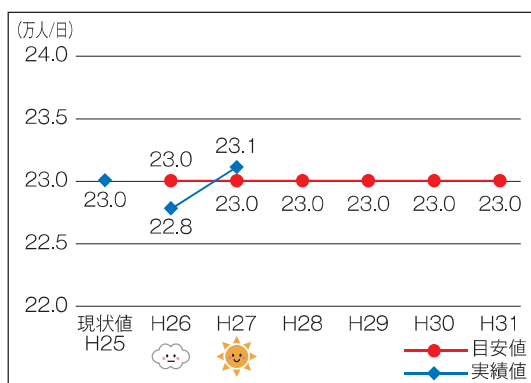
- ☆ コンパクトな「まち」づくり
- ☆ 公共交通の維持・確保

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

① 小さな拠点等取組件数



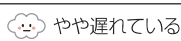
② 鉄道・バス等の利用者数



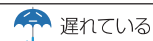
(注)達成見込の判断



概ね順調



やや遅れている



遅れている

○成果指標の分析

- ① 小さな拠点等取組件数は、国の交付金や県の補助金の活用により、目標達成に向けて概ね順調に推移している。
- ② 鉄道・バス等の利用者数は、公共交通サービスの維持充実を図るため、公共交通事業者に対する運行支援などの取組を実施しており、概ね順調に推移している。

3 県民満足度調査の結果

| | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|------------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 満足・やや満足の割合 | 29.3% | 33.7% | | | |
| やや不満・不満の割合 | 18.5% | 17.1% | | | |

4 主な取組成果

◎ コンパクトな「まち」づくり

- ▷ コンパクトな拠点やネットワークの形成

▷都市機能や中山間地域における集落機能維持

☆中心市街地の活性化やコンパクトな「まち」づくりの促進

- ・栃木県まちなか元気会議の活動を通じた関係市町等の取組支援
- ・集約型都市構造を実現するための市町による立地適正化計画の策定支援

☆集落機能等を維持する「小さな拠点」形成に取り組む市町への支援

- ・庁内連絡会議の設置によるワンストップ窓口機能の充実及び国の交付金や県の補助金の活用

▷定住自立圏等の形成

☆「定住自立圏」や「連携中枢都市圏」の形成に取り組む市町に対する助言等

- ・小山地区定住自立圏及び日光市定住自立圏の形成など、市町間の広域連携が進展

◎ 公共交通の維持・確保

▷地域の実情に応じた公共交通の維持・確保

☆広域的な公共交通ネットワークの改善の促進

- ・鉄道やバス等を効率的に組み合わせた公共交通広域ネットワークの改善検討

☆生活交通の改善・見直しに取り組む民間バス事業者や市町への支援

- ・持続可能な生活交通を確保するため、民間バス事業者及び市町の取組への支援
- ・効果的・効率的な生活交通の再構築を図る市町の取組への支援

☆市町の地域共助型生活交通システム導入の促進

- ・地域共助型生活交通システムの導入に向けた全国の先進事例調査の実施

5 課題

☆＜住民による地域コミュニティの維持・再生活動の促進＞

人口減少・高齢化の進展に伴い、行政サービスの低下や商店の撤退などの生活サービスの低下により、集落機能が衰退しており、将来的な集落の維持が危ぶまれる一方、その集落で暮らし続けたいというニーズも高い状況にあります。

また、自治会における役員のなり手不足、加入率の低迷などにより、地域コミュニティの希薄化が課題となっています。

人口減少社会が続く中で、集落機能を維持していくためには、地域住民主体による地域コミュニティの維持・再生活動を促進していく必要があります。